

嘉麻市社協だより

えがお

No.157

発行日/2019.3.1



箱の中には、
何が入って
いるのかな？

くす玉作り



おしゃべりサロンを開催しました

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751

FAX 0948-83-8005

<http://kama.syakyo.com>

✉ info@kama.syakyo.com

 <https://www.facebook.com/kama.swc>

前号に引き続き、障がい者やその家族への支援を行っている青柳壮悟さんから、寄稿いただきました。

前回は、「障がい者の虐待」の現状と私たちに求められていることについてお伝えしました。今回は、虐待や差別をなくすための大事な考え方である「障がい者の権利擁護」について一緒に考えていきたいと思います。

2006年に国連総会で「障害者の権利に関する条約（障害者権利条約）」が採択され、日本は2007年に署名しました。障害者権利条約では、「社会モデル」と呼ばれる考え方が反映されています。「障がい」は障がい者ではなく、社会が作り出しているという考え方が利用しづらい場合、足に障がいがあることが原因ではなく、段差がある、エレベーターがない、といった建物の状況に原因（社会的障壁）があるという考え方です。この原因をなくすことを「合理的配慮」と言います。前述の例の場合、スロープを作って段差をなくしたり、車いすの方が移動できるように渡し板を敷くことが合理的配慮に当たります。

また、障がい者のスローガンとなっている

「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」という考え方が障害者権利条約には反映されています。障がいがあるから、話し合いに参加しても理解できないだろうと決めつけるのではなく、障がいのある人にも分かるように説明し、意見を聞くことが求められます。障害者権利条約も障がい者団体が話し合いに参加して作られました。私の所属する施設でも利用者が話し合いに参加して、今後どのような生活を送るか決めていただいています。

障がいがあってもなくても人生の主人公は、その人です。私は、長年、障がいのある人に関わっていますが、いつも心がけていることがあります。それは、障がいのある人の「できないところ」ばかりに目を向けるのではなく、「好きなことや得意なこと（強み）」をたくさん見つけ、それを活かしながら、将来の夢を実現できるように支援することです。しかし、私たち福祉職員だけでは実現は困難です。障がいのある人が困難なことを乗り越えて行くためには、市民のみならず、人口が減少していきます。今後、さらに人口が減少していきます。今まで以上にお互いが尊重し合い、助け合う社会になることが求められています。ぜひ、みなさまの得意なことを活かしながら、障がいのある人を支えていただければと思います。



あおやぎ 青柳 壮悟さん

【職歴】

平成9年1月 社会福祉法人 和光会 笠松あんじや園 入職
 平成26年1月～現在 社会福祉法人 和光会 障がい者支援施設 笠松あんじや園 施設長
 平成26年6月～平成28年6月 公益社団法人 福岡県社会福祉士会 副会長
 平成28年6月～平成30年6月 公益社団法人 福岡県社会福祉士会 会長

【資格】

認定社会福祉士、介護福祉士、福祉施設士

【福岡県社会福祉士会での活動】

- ・ばあとなあ福岡（成年後見人）登録
- ・福岡高齢者・障害者虐待対応チーム 所属
- ・福岡障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 講師

地域貢献活動について考える

くま福祉ネットワーク委員会

1月22日(火)、かま福祉ネットワーク委員会を開催し、市内の10法人14施設から19名が参加しました。

はじめに、1月に行った緊急支援の内容を報告しました。在宅介護支援センターから相談を受けて訪問したAさんは、病気で退職したのち生活に困窮するようになりました。Aさんの困りごとを聞きながら課題を整理し、支援計画を立てサポートすることに同意を得たうえで、委員会で電気代や食料費を負担しました。

次に、母子生活支援施設かほの森の和多勇二郎さんと児童養護施設嘉麻学園の実村智樹さんから、施設の概要、日頃の業務等について話してもらいました。この取り組みは、他の社会福祉法人の話聞き、他分野の制度や仕組みを知ること、総合相談機能を高めるとともに、困ったとき

に相談し合える関係づくりを目指しています。

また、役員の変更を行い、会計には、白井隆輝さん(軽費老人ホーム三光園)、監事には因幡宏さん(障がい者支援施設つばさ学園)、丸山基樹さん(通所介護うすいの里)が選任されました。

最後に、福岡県社会福祉協議会の勝野耕太郎さんから、ふくおかライフレスキュー事業の実践事例を聞き、委員会の取り組みと重なる部分や手続きの違いを確認し、支援のイメージをふくらませました。



声かけ訪問活動を続けて

く山野第二行政区高齢者支援ふれあいネットワーク委員会

退職を機に地域に貢献できることはないかと考えていた永富健二さんは、高齢者の孤独死のニュースを見たり、ふれあい・いきいきサロンの話を聞いて、高齢者の見守りについて取り組みたいと思ったそうです。

そこで、民生委員や高砂会(老人会)、食生活改善会、子ども育成会や福祉推進員に声をかけ、「山野第一行政区高齢者支援ふれあいネットワーク委員会」を立ちあげました。委員11名と協力委員5名で、ふれあい・いきいきサロンの運営や地域で見守りを希望された高齢者宅を訪問する活動を始めました。

現在では、80歳以上の一人暮らしの方30名の声か

け訪問活動を毎月行っています。「最近、〇〇さんの様子が変わった」と相談があれば、委員会で共有し、心配なことや困りごとを地域で解決できるように考えています。

永富さんは「立ち上げ当時から委員も多く、委員同士の結束も強まり、地域で顔が見える関係づくりが広まっています」と話されました。約17年続いている活動は、委員のライフワークとなり、生きがいにもなっています。



今月のえがお

最近笑顔になった出来事を教えてください



きむら とよつぐ
木村 豊次 さん

山田地区公民館下山田分館の役員をしており、みなさんと時々お酒を酌み交わしています。飲み過ぎに注意しながらも話をするのが楽しくて、元気になります。今後もみなさんと楽しい時間を過ごしたいと思います。



きむら
木村 たず子 さん

今年で古希になりました。3人の孫がおばあちゃんの作った食べ物は美味しすぎると言ってくれるので、嬉しくなります。今度もまた腕を振るって、手料理を孫に食べさせたいと思います。



本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/>

第9回生活支援コーディネーター連絡会

2019年1月16日(水)

1月16日(水)、福智町地域交流センターで、第9回生活支援コーディネーター連絡会が開催され、職員2名で参加しました。

最初に、福岡県包括ケア推進係 ^{うめおか}梅岡さんが、「自家用有償旅客運送及び道路運送法の許可又は登録を要しない運送」と「通所介護の送迎」について、説明されました。

次に、公益財団法人さわやか福祉財団 さわやかインストラクター ^{えぐちようすけ}江口陽介さんから、「生活の足 その仕組みづくり」をテーマに、住民主体の移動支援について話がありました。佐賀県の事例をもとに、自立しているからよいのではなく、常に地域の情報を把握しておく視点や目の前にあるニーズに向き合い、今ある社会資源を活用した仕組みづくりから始めることが大切と話されました。

その後、生活支援の現状や進め方、サービスの創出について、グループで情報交換を行いました。買い物支援や地域で集える居場所、ちょっとした困りごとを助け合う仕組みなど、実際にサービスを創出しているものの、サービスの担い手が不足していること、地域住民や地元商店にいかに協力してもらえるか等、課題についても共有しました。

最後に、本会の木山事務局長が、サービスの創出や担い手の確保には、まずどのくらいの範囲で行うのかエリアの設定が大切であることや地域で役を持たない方にも働きかけ、一緒に考えてもらうことが大切と説明しました。

社会福祉士の国家試験を終えて

世間ではインフルエンザが流行する中、2月3日(日)に社会福祉士の国家試験を受験しました。大学生で受験した昨年と比べると、相談を受けた方の顔を思い浮かべながら問題を解くことができ、日々の業務に関連する問題には、自信を持って解答しました。また、会場内には、共に学生生活を送った友人たちの姿もあり、互いに近況を報告し合いました。後は、結果を待つのみです。受験されたみなさん、本当にお疲れ様でした。(やました)

2019年度 協議体の開催日時及び会場

協議体は住み慣れた地域で暮らしていくために、みなさんで話し合い、必要な仕組みをつくっていく場です。
どなたでも参加できますのでお気軽にお越しください。

協議体の名前	なつきちゃん にし (稲築西)	なつきちゃん ひがし (稲築東)	嘉麻い隊 うすい (碓井)	あっとふる やまだ (山田)	嘉穂 ますます会 (嘉穂)
 4月	18日(木) 13:30~15:30 稲穂園	18日(木) 10:00~12:00 鴨生町公民館	19日(金) 13:30~15:30 上臼井公民館	16日(火) 13:30~15:30 白馬ホール	15日(月) 13:30~15:30 夢サイトかほ
 5月	16日(木) 13:30~15:30 山野第二公民館	16日(木) 10:00~12:00 平東公民館	17日(金) 13:30~15:30 飯田公民館	28日(火) 13:30~15:30 筑紫集会所	20日(月) 13:30~15:30 旧宮野小学校
 6月	20日(木) 13:30~15:30 漆生中央公民館	20日(木) 10:00~12:00 枝坂公民館	21日(金) 13:30~15:30 昭嘉公民館	25日(火) 13:30~15:30 三菱第一集会所	17日(月) 13:30~15:30 千手いこいの家
 7月	18日(木) 13:30~15:30 漆生東公民館	18日(木) 10:00~12:00 平第一公民館	19日(金) 13:30~15:30 笹原公民館	23日(火) 13:30~15:30 山田生涯学習館	22日(月) 10:00~12:00 下牛隈公民館
 8月	22日(木) 13:30~15:30 稲穂園	22日(木) 10:00~12:00 鴨生第二公民館	16日(金) 13:30~15:30 碓井公民館	27日(火) 13:30~15:30 木城集会所	19日(月) 13:30~15:00 足白公民館
 9月	19日(木) 13:30~15:30 稲築地区公民館	19日(木) 10:00~12:00 銭代坊公民館	20日(金) 13:30~15:30 上臼井公民館	24日(火) 13:30~15:30 山田活性化センター	9日(月) 13:30~15:30 旧宮野小学校
 10月	23日(水) 13:30~15:30 全体会 山田市民センター				
 11月	21日(木) 13:30~15:30 山野第一公民館	21日(木) 10:00~12:00 平東公民館	15日(金) 13:30~15:30 飯田公民館	26日(火) 13:30~15:30 白馬ホール	18日(月) 13:30~15:30 夢サイトかほ
 12月	19日(木) 13:30~15:30 山野第二公民館	19日(木) 10:00~12:00 鴨生町公民館	20日(金) 13:30~15:30 昭嘉公民館	24日(火) 13:30~15:30 筑紫集会所	16日(月) 13:30~15:30 千手いこいの家
 1月	16日(木) 13:30~15:30 漆生東公民館	16日(木) 10:00~12:00 枝坂公民館	17日(金) 13:30~15:30 笹原公民館	28日(火) 13:30~15:30 三菱第一集会所	20日(月) 10:00~12:00 下牛隈公民館
 2月	20日(木) 13:30~15:30 漆生中央公民館	20日(木) 10:00~12:00 鴨生第二公民館	21日(金) 13:30~15:30 碓井公民館	25日(火) 13:30~15:30 山田活性化センター	17日(月) 13:30~15:30 足白公民館
 3月	19日(木) 13:30~15:30 稲築地区公民館	19日(木) 10:00~12:00 銭代坊公民館	13日(金) 13:30~15:30 上臼井公民館	24日(火) 13:30~15:30 山田生涯学習館	16日(月) 13:30~15:30 夢サイトかほ

※会場等の都合により、日時が変更になる場合がございます。

お問い合わせ先 / 嘉麻市社会福祉協議会 TEL:0948-42-0751



もしもの時のために備えよう

～ボランティア活動保険のご案内～

ボランティア活動保険は、「活動中にけがをして入院した」「活動中に誤って、他人のものを壊してしまったり、けがを負わせた」など、万が一の事故を補償するものです。

2018年度中に加入されている方は補償期間が2019年3月31日で満了となります。2019年度の加入については、3月から受け付けていますので、ご利用ください。

なお、内容によっては、保険の対象とはならない活動もありますので、詳しくはセンターまでご相談ください。

補償期間 2019年4月1日～2020年3月31日まで

※4月1日以降に加入された方は加入日の翌日からの適用となります。

年間保険料 基本タイプ Aプラン350円 Bプラン510円

天災タイプ Aプラン500円 Bプラン710円

※天災タイプは基本タイプに加え、地震や津波、噴火による怪我也補償します。

台風などの風水害によるケガや熱中症(日射病や熱射病)は基本タイプで補償されます。

お問い合わせ / かまボランティア・市民活動センター 0948-42-0751

ボランティア募集情報

楽しくおしゃべり

特別養護老人ホーム松寿園では、入居者の話し相手やレクリエーション、オレンジサロンのお手伝いをしていただける方を下記のとおり募集します。

記

場 所 特別養護老人ホーム松寿園
(嘉麻市漆生2338-1)

日 時 月曜日～金曜日、
第3日曜日(3月のみ第2日曜日)
※可能な時間帯で構いません。

内 容 話し相手やレクリエーション、
オレンジサロンのお手伝い
(うどん、そば作りの補助作業)

備 考 動きやすい服装、室内履きをお持ちください

子どもたちとの遊び相手

障がいを持つ子どもと家族の会「Bravo!」は、山田ふれあいハウスで、定例会を開催しています。保護者の方々は和やかな雰囲気の中で、情報交換や悩みの共有をしています。その際に子どもたちとの遊び相手をしていただける学生または20代～30代の方を下記のとおり募集しています。

記

場 所 山田ふれあいハウス
(嘉麻市上山田502-6)

日 時 3月16日(土) 11:00～15:00

募集人数 1～2名程度

備 考 動きやすい服装で、昼食や水分はご自身でご準備ください

お問い合わせ / かまボランティア・市民活動センター 0948-42-0751



看護師も涙した 老人ホームの素敵な話

著者 小島すがもさん
出版社 東邦出版



この本には、特別養護老人ホームで看護師として働く著者が経験した、19のエピソードが紹介されています。

長年自宅で、認知症の父親を介護してきた息子さんは、仕事と介護の両立に限界を感じました。入所した父親に会いに行く度に症状が和らいでいくのを見て、「今まで自分がしてきた介護は間違っていたのかな」と、ショックを受けました。ある日面会に行くと、部屋で暴れ「助けてくれ」と自分の名前を叫ぶ父親を見て、悲しい気持ちになると同時に自

分のことを覚えてくれていたと嬉しくなったそうです。それから、「自分にしかできないことを父にしてあげたい」と思い、一緒に外出するなどし、親子の時間を増やすようにしました。

また、視覚に障がいをもった女性は、見えないからと、他の入居者との関わりや外出を拒みます。ある日、ロビーで桜の枝を飾り、その方に声をかけると、花を触ったり匂いを嗅いだりしながら「ああ、桜や、春やね。私もみんなと一緒にお花見ができて嬉しいわ」と、笑顔で話されました。この様子を見て、その方の諦めや本当はみなさんと同じものを共有したかった気持ちに、気づいたそうです。

入居者の言葉や行動の裏にある気持ちを汲み取ることや家族の心にも寄り添うことなど、著者が入居者から教えてもらったことや大切だと感じたことが書かれています。入居者と職員のユニークなやりとりや心温まる描写があり、「その人にとつての一番の幸せは何だろうか」と考えさせられる1冊です。

(やひろ)

炭 鉱 の 記 憶

No.144

枝坂行政区にお住まいの草場辰巳さんから、空気充填機の写真を提供してもらいました。

草場さんは、坑内（漆生坑、杉谷坑、葉月坑）で電気が使えるようにスイッチ座を作るなどの動力設備の仕事をしていました。杉谷坑では充填にも携わっていたそうです。

採炭すると、その部分だけがぼつかりと空いた状態になります。そのままにしていると、周りの岩石が崩れたり、自然発火し危険なため、この充填機を使って、空洞にボタを詰めます。

機械の上には、ベルトコンベアがあり、水を含んで柔らかくなったボタが送られてきます。このボタが充填機内を通り、圧縮された空気の力で、つながれたパイプから石炭を採掘し

た場所まで勢いよく飛ばされるそうです。

この充填作業は、杉谷坑の海軍八尺層や土間八尺層と呼ばれていた一部の層でしか行われていなかったため、作業工程を知る人は少ないようです。

草場さんは、「石炭が何に使われていたかを知らない子どもたちが増え、また、当時のことを語り合える人が少なくなり寂しくなった」と、話されました。



4月・5月の総合相談

法律相談

と き：4月4日(木) 13:00～16:00

ところ：山田ふれあいハウス

と き：5月16日(木) 13:00～16:00

ところ：稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。
先着順となっていますので、
お早目にお申し込みください。



心配ごと相談

と き：4月10日(水) 13:00～15:00

と き：4月24日(水) 13:00～15:00

と き：5月8日(水) 13:00～15:00

と き：5月22日(水) 13:00～15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも
稲築住民センターです。

山田ふれあいハウスからの お知らせ

2019年4月1日(月)
から10月31日(木)まで、
閉館時間が下記のとおり
変更になります。



記

閉館時間 午後7時

※子育てリユースセンターの受付は
午後5時までです。

お問い合わせ先 山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847



Q

成年被後見人Aさんが入所している施設のスタッフから、Aさんの日用品を購入するため、お金を施設に預けてほしいと言われました。施設にお金を預けてもよいのでしょうか？

A

成年被後見人の同意を得たのち、施設にお金を預けることは可能です。そこで成年後見人として気を付けるべきことは、成年被後見人と施設との金銭トラブルを防ぐことです。施設には預り証の発行と、商品を購入した領収書や出納帳を提出してもらい、施設に預けた金額や残金を明確にしておきましょう。

葬儀を終えてご家族様を見送る時最後に「ありがとうございます」とのお言葉を頂ける事がございます。私共一同、葬儀を通して喜びを感じるときでもあります。これからもより一層お客様の立場に立って、ご奉仕させていただきます。



嘉麻市牛隈1822
☎ (0948) 57-4444

指定葬祭場紹介
いすや会館

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、いすや会館を含め、市内に7ヶ所あります。

セレモニーホールおおつか	☎52-1212	おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420
かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566	飛鳥会館 南斎場	☎42-4241
善光会館 稲築会場	☎83-5000	きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

1月1日～1月31日受付分

◆香典返し

〔漆生中央〕

親族 山本清子様
故 山本和子様

〔東岩崎〕

親族 中嶋由利様
故 中嶋ひとみ様

〔口春〕

親族 奥野康子様
故 奥野豊子様

〔枝坂〕

親族 有馬サツエ様
故 有馬秀光様

〔本町〕

親族 奥静造様
故 奥洋造様

〔三菱第一〕

親族 西野フミ子様
故 西野裕子様

〔中益〕

親族 大西国昭様
故 大西鈴子様

〔下午隈〕

親族 広瀬敬子様
故 広瀬久子様

〔牛隈北区〕

親族 梶原淳一様
故 梶原シマヨ子様

〔嘉穂才田〕

親族 末継善治様
故 末継善治様

〔芥田〕

親族 松岡千代美様
故 松岡道宏様

〔西馬見〕

親族 縄田菊江様
故 縄田栄蔵様

〔下白井西〕

親族 石原和盛様
故 石原常盛様

〔市外〕

(株)O・K保険事務所様
親族 坂本政雄様
故 坂本政雄様

◆一般寄附

〔古切手〕
山野第二 古賀 絹江様
泉河内 嶋田 勝守様
教育ナビゲーション(株)様
嘉麻市福祉事務所
保護課庶務係様

◆物品寄附

〔子育てリユース〕
鴨生第二 吉田 雅子様
漆生老松 内山 好美様
漆生東 坂本 真一様
ゆづひが丘 阪下理恵子様
下午隈 吉岡 知子様
嘉穂才田 大屋 由美様
匿名 様

〔アルミ缶〕

漆生南部 岩田 勇治様
漆生南部 岩田 勇治様

〔リングブル〕

漆生本村 森田 洋子様
山野第二 古賀 絹江様
鴨生第一 國武美千代様
西岩崎 匿名 様
下宮 三好 邦央様
木城 樋口 えり様
中山山下 箕田ヤヨイ様
泉河内 嶋田 勝守様
椎木 田中喜代美様
鴨生第一福祉部 様
夢サイトかほ 様
ダスキン嘉穂 様
長円寺仏教婦人会 様

〔市外〕

松浦加代子様

猪之鼻 菊池 春政様
鴨生第一行政区 様

漆生南部 西田 幸子様
百々谷 日野 和義様
神幸 松岡 敦子様
下宮 ライブハウス 様
おおつか様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に
ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

1月1日～1月31日受付分

〔市外〕松浦加代子

社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で図書券(千円分)、ポストカードセット(4枚組)をそれぞれ1名の方にプレゼントします。

問題

かま福祉ネットワーク委員会では、母子生活支援施設かほの森と児童養護施設嘉麻学園の方から、施設の概要、日頃の業務等について話してもらいました。この取り組みは、何を高めるために行っているのでしょうか？

- (1) 進路相談機能
- (2) お悩み相談機能
- (3) 総合相談機能

●応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、平成31年4月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

●送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会
E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

●前号のクイズの答え

(2) 24回目

嘉穂校区で行われている「若水くみ」という伝統行事は、今年で24回目になります。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・古くからの伝統行事を守っている地域みなさんに感動しました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

ふるさとへの
手紙
No.157



北九州市在住
あらかわ かなえ
荒川 佳苗さん
旧稲築町出身



温かい地域と
ふるさとに感謝

私は、現在北九州市に住んでいます。学生時代を稲築で過ごしました。小学校4年生の夏に稲築公園のシンボルとなる壁画の公募がありました。当時、私は地元の獅子舞に参加していたので、その時の様子を描き応募しました。採用された時は嬉しかったです。しかし、それ以上に、その壁画に地域の人と一緒に小さなタイルを貼って作品を完成させたことがすごく楽しく、嬉しく思いました。

久しぶりに帰った我が家で、「娘さんが描いた壁画を手入れしてきたよ。よか絵やね。」と、地域の方が声をかけてくださると母から聞きました。今もなお、地域の人に守られている壁画を通してみなさんの温かさを感じます。

私は、これまでいろいろな体験活動を行ってきました。小中学生のジュニアリーダーでは、社会福祉協議会の協力で、車いすやアイマスク等を使って福祉安全安心マップを作りました。車いすのレクダンスなども学び、いろいろな人と関わりを持つことができました。

また、一昨年の嘉麻市産廃火災では、みなさんが大変な思いをされたことと思います。北九州市から消防士として故郷のために力になればと思い、活動させていただきました。これからもふるさとを大切に思う心と、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思えます。

編集後記



(おがわ)

おしゃべりサロンでは、鬼をモチーフにしたくす玉作りをしながら、ゲームやおもちゃを使用するうえで家庭内のルールや片付けの声かけの仕方などを紹介しました。



(ふじい)

今月のえがおで取材した木村さんご夫婦によると、夫婦円満の秘訣は、お互いのことを尊敬しながら、毎日笑顔で過ごすことだそうです。仲の良い様子が伝わってきました。



(いとう)

炭鉱の記憶は、草場さんにアルバムを見せてもらいながら話を伺いました。仮装やマラソン大会、巻き上げ機の写真などが綴じられており、当時の思い出を一つひとつ笑顔で話される姿が印象的でした。



(うちだ)

山野第一行政区の高齢者の声かけ訪問活動では、委員も高齢者も月1回の訪問を楽しみにしているそうです。地域で高齢者を見守り、支え合う地域づくりの取り組みの大切さを教えてもらいました。



(やました)

ふるさとへの手紙に寄稿してもらった荒川さんの壁画を観に、稲築公園に行きました。細かなタイルを敷き詰めて、真ん中に堂々と描かれた2頭の獅子達は、今にも動き出しそうな迫力でした。



(やひろ)

今月の1冊では、老人ホームに転職した看護師が、入居者やその家族と関わりながら学んでいく様子から、入居者の幸せは、本人と周りの人が一緒になって作りだしていくものだということを学びました。

2019年度から
発行回数を年4回に...

嘉麻市社協だより「えがお」は、平成18年3月1日の合併日に創刊され、以後毎月発行を続けて、今号で157号を数えるに至りました。この「えがお」は、嘉麻市社協の歩みが詰まっていると言っても過言ではありません。この間、みなさまには、取材の協力や地域の情報提供をいただき、誠にありがとうございます。たくさんの方々を支えられて、地域の情報やふるさとへの手紙、炭鉱の記憶などを掲載することができました。また、みなさんからの「毎月、楽しみにしているよ」との声は、職員の励みでもありました。

しかしながら、2019年度から、発行回数を年4回(5月・8月・11月・2月)とすることになりました。「えがお」を通して、多くの方々につながる機会をいただきましたが、この機会が減ってしまうことは職員一同断腸の思いです。今後は回数が減っても、みなさまから発行を心待ちにされるような情報紙を目指して、引き続き努力してまいりますので、今後ともご愛読いただきますようお願い申し上げます。

